

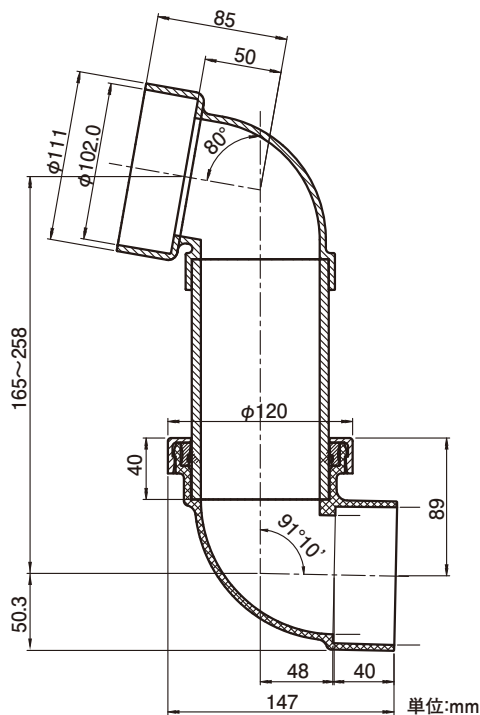
■ 80° サニタリーベンド管・継手の規格

耐火アイボリー

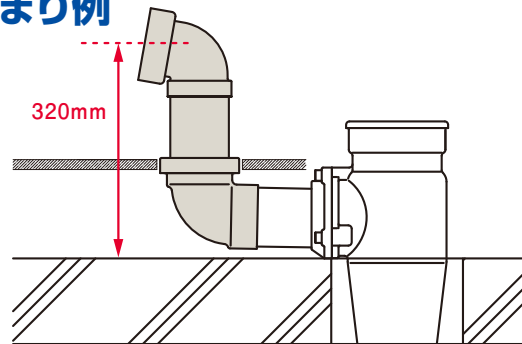
シルバー



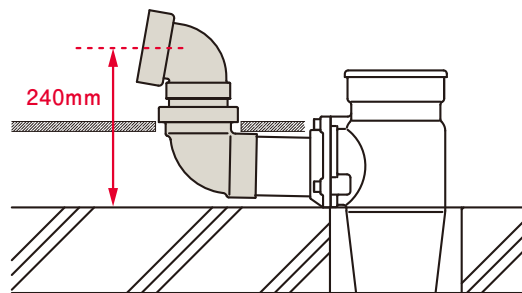
呼び径	製品	品番	価格	備考
75	耐火アイボリー (耐火VP仕様)	FSPSB80	7,500円	防火区画で耐火VPの認定が必要な場合、必ず耐火アイボリーを使用してください。
	シルバー (ノーマルVP仕様)	JPSB80	6,900円	—



■ 納まり例



スラブからの距離(最大)



スラブからの距離(最小)

⚠ 設計・施工・使用上の注意事項

- P型(壁出し)便器専用の製品です。床出し便器には使用しないでください。
- 80° サニタリーベンド管およびゴム輪付エルボを落したり、踏み付けたり、蹴ったりしないでください。
- ゴム輪付エルボは継手に刻印されている流れ方向に従い、必ずゴム輪を上向きにして真直ぐ接続してください。斜めや横向きに使用すると、漏水や詰りなどの原因となります。
- ゴム輪付エルボを横引き配管と接着するときは、接着剤がゴム輪に付着しないようにご注意ください。
- 80° サニタリーベンド管をゴム輪付エルボに挿入するときは、エスロン滑剤No.1を管およびエルボのゴム輪に少量塗布してください。
- 80° サニタリーベンド管およびゴム輪付エルボに挿入するときは、叩き込みや斜め挿入は絶対にしないでください。
- 80° サニタリーベンド管および継手の配管後、無理な力を加えないでください。
- ゴム輪付エルボのリング部は取外しはできません。
- 接着接合にあたっては、別途「エスロン接着剤」カタログを参照の上、安全・確実に施工をしてください。
- 耐火VPパイプ製品に関する注意事項および認定・評価については「エスロン耐火VPパイプ配管システム」カタログを参照してください。

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店
設備システム営業所 022(217)0608

東日本支店 建築営業部

東京設備システム営業所 03(5521)0641
関東設備システム営業所 048(646)0160
横浜営業所 045(311)9115
静岡営業所 054(275)0720
甲信営業所 0263(38)1220
東関東営業所 043(204)5070

中部支店
設備システム営業所 052(307)6806

西日本支店
近畿設備システム営業所 06(6365)4503
中国設備システム営業所 082(224)6251

北陸営業所 076(231)4245
京滋営業所 075(662)3418
四国営業所 087(821)2113

九州支店
設備システム営業所 092(271)1314

積水化学北海道(株)
建築・ストック営業部 011(737)6330

お客様相談室【東京】03(5521)0505 【大阪】06(6365)4133

エスロンタイムズ on the Web
<https://www.eslontimes.com>



専用の管理ページでさらに便利に！
あなただけのエスロンタイムズ
MYエスロン

*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2018年 7月 初 版

エスロン80°サニタリーベンドシステム
パンフレット

積水化学工業株式会社
建築システム事業部

ツールコード
No. 05576

2018. 7. 2TH TX

SEKISUI

2018.7 初 版

新製品

エスロン® 80°サニタリーベンド システム **P型便器専用**

改修現場での P型便器の接続を 簡単・確実に!!

排水高さが変わっても調整が可能です

○便器交換が容易になります。

便器交換する際、P型便器の排水口高さが変化しても、80° サニタリーベンド管を切断することで簡単・確実に接続が可能です。

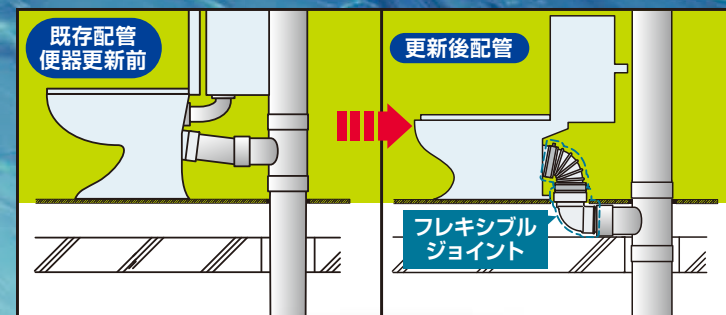
○耐久性が向上します。

排水で実績のある塩ビ素材のため、劣化や詰まりに対する信頼性が向上します。

○接続部の止水が確実です。

便器との接続部および配管の組合せ部は、現行のサニタリーベンドおよび差込みソケットと同様の構造のため、接続部における止水は確実です。

フレキシブルジョイントでは耐久性や止水性が不安…



P型便器の排水高さに
応じて切断可能



単管式や在来の排水方式に
接続できます

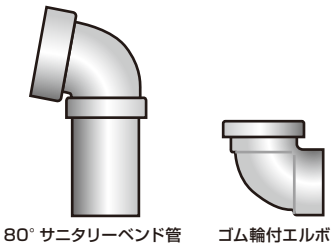
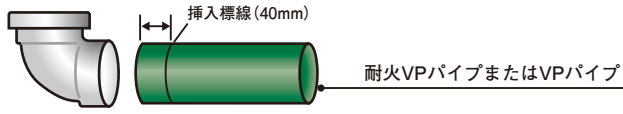
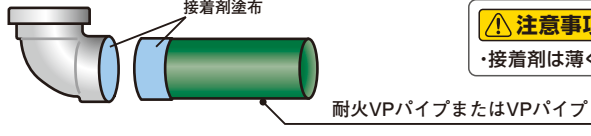
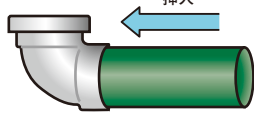
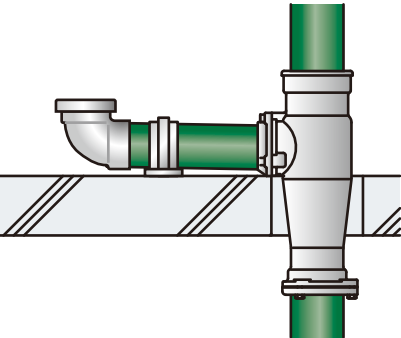
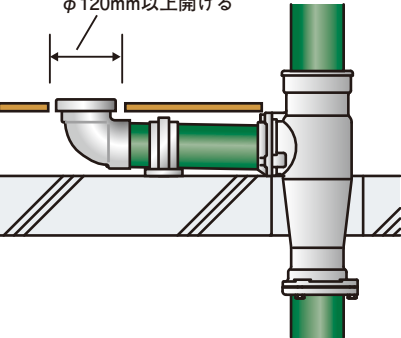


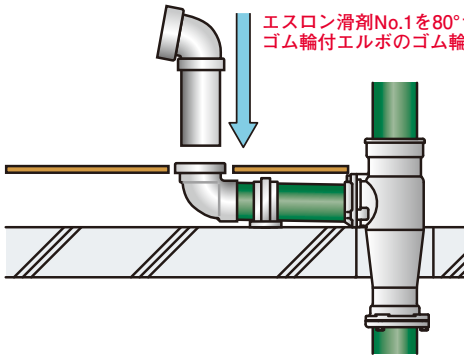
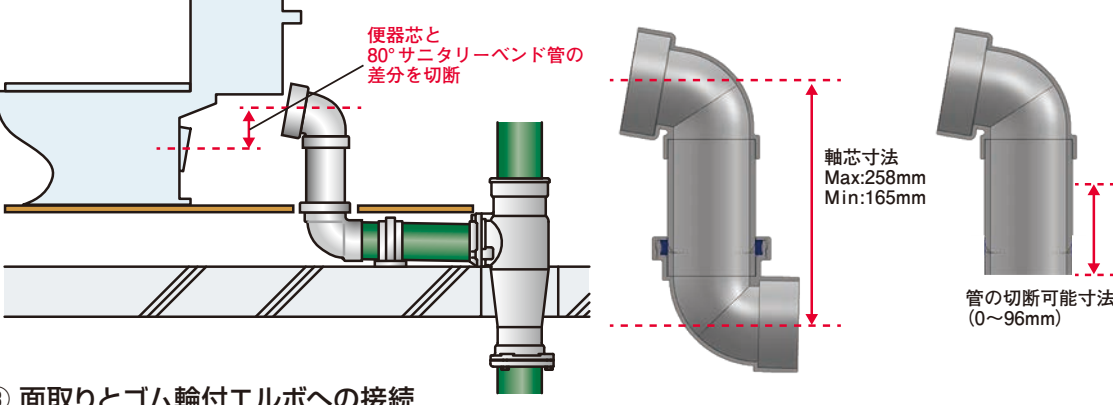
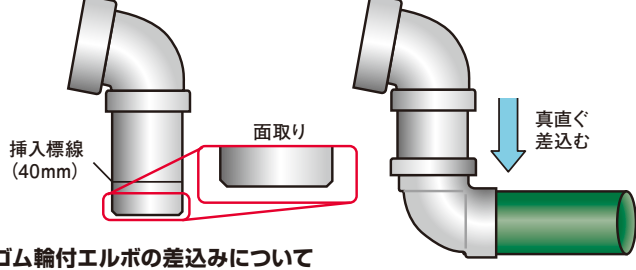
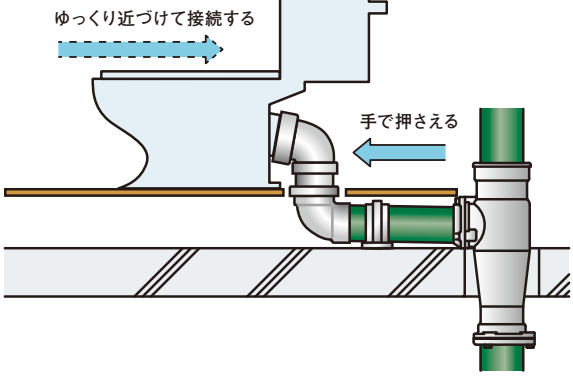
80° サニタリーベンドシステム

直管部を切断することで便器の排水口の高さへ対応可能です。
区画貫通の認定・評価にあった製品を選択してください。

80°サニタリー ベンドシステムなら、

施工手順

作業項目	作業手順および注意事項
1 製品の確認	製品を確認してください（耐火アイボリーまたはシルバー）。  80° サニタリーベンド管 ゴム輪付エルボ ⚠ 注意事項 ・製品に傷が付いていたり、変形しているものは使用せず、新しい製品に交換してください。 ・本製品と接続する集合継手（または耐火DV継手・MD継手等）および防火区画の認定・評定に合った製品を使用してください。 [ADスリム継手：耐火アイボリー] [耐火ブラAD継手：耐火アイボリーまたはシルバー]
2 ゴム輪付エルボと横引き管の接続	① 挿入標線の記入 横引き管の差し口を糸面取りし、管に挿入標線を引きます。 （ゴム輪付エルボ受け口長さ：40mm）  挿入標線（40mm） 耐火VPパイプまたはVPパイプ ② 接着剤の塗布、挿入と保持 下記の接着剤を使用して、継手の内面、管の外面の順に適量を均一に塗布します。 ご使用いただける接着剤：エスロン接着剤 No.73S、75S、73Sブルー、75Sブルー  接着剤塗布 耐火VPパイプまたはVPパイプ ⚠ 注意事項 ・接着剤は薄く全面に塗布してください。 継手受口と管差し口の軸を合わせ、速やかに標線の位置まで挿入します。 その後、30秒以上保持し、抜け戻りがないことを確認します。  挿入 ⚠ 注意事項 ・管の挿入・保持後、はみ出した接着剤は拭き取ってください。 ・接着剤がゴム輪に付着しないように注意してください。 ・叩き込みや斜め挿入は、継手の破損や漏水の原因となりますので、絶対に行わないでください。
3 立て管との接続	① 立て管（集合継手またはDV継手）への接続 接着したゴム輪付エルボと横引き管を立て管（集合継手または耐火DV継手・MD継手等）へ接続します。 ゴム輪付エルボの直近をフロアバンドで固定してください。  ② 床板の張り付け ゴム輪付エルボの位置を確認し、床板を張ってください（φ120mm以上開ける）。  φ120mm以上開ける

作業項目	作業手順および注意事項
4 80° サニタリーベンド管とゴム輪付エルボの接続	① 80° サニタリーベンド管の仮差し 80° サニタリーベンド管とP型便器の排水芯を確認するため、ゴム輪付エルボに仮差しします。 80° サニタリーベンド管を切断する前に行ってください。  エスロン滑剤No.1を80°サニタリーベンド管およびゴム輪付エルボのゴム輪に塗布する ⚠ 注意事項 ・仮差し時は、80°サニタリーベンド管およびゴム輪付エルボのゴム輪にエスロン滑剤No.1を必ず塗布してください。 ・万が一、仮差し前に切断した場合は、必ず管の面取りを行ってから仮差ししてください。（ゴム輪付エルボのリング部の取外しはできません） ・接着剤は使用しないでください。 ・叩き込みや斜め挿入は継手の破損や漏水、ゴム輪を傷つける原因となりますので絶対に行わないでください。 ・80° サニタリーベンド管は必ず奥まで差し込んでください。 ② 80° サニタリーベンド管の切断 80° サニタリーベンド管をP型便器の排水芯に合わせた長さで切断します。  便器芯と80°サニタリーベンド管の差を切断 軸芯寸法 Max:258mm Min:165mm 管の切断可能寸法 (0～96mm) ③ 面取りとゴム輪付エルボへの接続 80° サニタリーベンド管の端部を糸面取りし、挿入標線（40mm）を80° サニタリーベンド管に記入し、ゴム輪付エルボのゴム部および管端部にエスロン滑剤No.1を塗布した後、真直ぐ挿入します。  挿入標線（40mm） 面取り 真直ぐ差込む ⚠ 注意事項 ・接着剤は使用しないでください。 ・叩き込みや斜め挿入は継手の破損や漏水、ゴム輪を傷つける原因となりますので絶対に行わないでください。 ・80° サニタリーベンド管は必ず奥まで差し込んでください。漏水の恐れがあります。 ※ゴム輪付エルボの差込みについて ゴム輪付エルボの差込み量は40mmです。必ず奥まで差し込んでください。
5 便器との接続	便器との接続 80° サニタリーベンド管を手で支えながら便器をゆっくり近づけて接続します。 便器接続後は、80° サニタリーベンド管が前後左右に傾いていないことを確認してください。  ゆっくり近づけて接続する 手で押さえる ⚠ 注意事項 ・接着剤は使用しないでください。 ・奥まで確実に差し込んでください。 ・便器を勢いよく当てたり、叩き込む、斜め挿入すると継手の破損や漏水、ゴム輪を傷つける原因となりますので絶対に行わないでください。 ・便器接続後は、配管が真直ぐになっていることを確認してください。傾きがあると、排水に不具合が生じたり、漏水の恐れがあります。

その他の注意事項につきましては、次ページをご参照ください。➡